

中学校 C

ベースボール型の学習における指導法の工夫

吉野 達也 (安 房)

岡安 和彦 (夷 隅)

初澤 朋恵 (君 津)

能城 伊男 (木更津・袖ヶ浦)

片山 博臣 (市 原)

吉川 明夫 (長 生)

1 テーマについて

「活力ある児童生徒を育む体育指導のあり方」というテーマを受け、平成 24 年度から完全実施される新学習指導要領で必修となったベースボール型の学習において、「活力ある生徒」を育むための授業作りについて考えることにした。本グループは、「活力ある生徒」を「夢中になって運動に取り組む生徒」、「仲間と一緒にのびのびと全力で運動に取り組む生徒」と捉えた。ベースボール型は技能の習得やルールを理解、運動量の確保などが難しく、課題が多い種目であると言われる。そうした難しさを考慮して、今年度は、授業者が生徒や学校の実態に合わせて、どのようにすればより効果的な授業作りができるか、次の2点にポイントを絞ってそのヒントを提案してみたい。

- ① 生徒の能力や学校の施設・設備などの実態に応じたゲームの作り方について。
- ② 「打つ」「投げる」「捕る」の基本的技能をどうすれば効果的に習得させられるか。その練習方法について。

2 ベースボール型の学習における指導法の工夫

いかにモデルとなる単元計画を示しても、それぞれに生徒や学校の実態が異なるのは言うまでも無い。そこで、そうした実態に応じて各学校の先生方が授業を計画する上で重要な要素であろうと思われる事柄についてまとめてみた。次のA群とB群、C群を組み合わせて、オリジナルの教材（工夫されたルールでのゲーム）を考えてみていただきたい。また、授業の導入などで行う技術練習には、D群に参考例を示した。

(1) 教材開発のために工夫できること

A群【用具】

《ボール》

○ソフトボール(正規)

・様々なボール(写真1)

○学校体育ソフトボール※1(写真1の左端)

・材質：表面・・・天然ゴム 芯・・・発泡ウレタン

○プラスチックボール(写真1の右から2番目)

・2号球より小さい少し肉厚のプラスチック製。
穴が空いていて打ってもあまり飛ばないため、省スペースで使える。

スポーツ店、ホームセンター等で購入可。
(参考価格 50個 3980円, 2個 198円)

写真1 様々なボール



○ティーボール(写真1の左から2番目)

・材質：ポリウレタン



○ウレタンボール小 写真1の一番右



《バット》

○正規のソフトボール用金属バット

○子供用バット(ホームセンターなどで購入可)

○プラスチックバット

○学校体育ソフトボール用バット

○ティーボール用バット など

※重さ、長さ、材質(ボールに見合ったもの)等を考慮する

《グローブ》

○正規のソフトボール用

○軍手(必要に応じて二重に重ねる)

○子供用(ホームセンターで購入できる。小さい。柔らかい。ビニール製。)

《キャッチャーマスク、プロテクター》

※用具やルールによっては、安全面に配慮して、キャッチャーは着用することが望ましい。

《ティー》

- 市販されているもの ○手作りの例

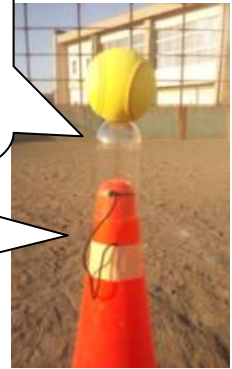


◎ペットボトル

- ・口の方の細くなる部分をカットしてボールを乗せる。
- ・下の方をカットしてカラーコーンにかぶせる。

◎紐

- ・ペットボトルとカラーコーンに穴を開けて繋ぎ、ガムテープで固定。



※1 学校体育ソフトボールの用具やルールについては、日本ソフトボール協会のHPを参照。

B群【ゲームの行い方の例】

ゲームの種類とその特徴(ねらいや目標、ルールは例示)

並びっこゲーム

○ねらい ゲームの構造を理解する。

○目標 ①攻撃者は、守備者がいないところへの打撃から、一塁方向へ走る一連の動作を身につける。

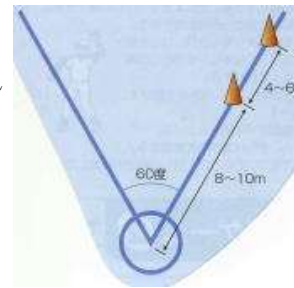
②守備者は、正確な捕球と簡単な守備位置についてのチームプレーを身につけるとともに、打者(走者)が目的地に到着する前に定められた場所にボールを運んでアウトにする一連のプレーを身につける。

○ルール:①図のようにラインを引き、カラーコーンを配置する。

②打者はボールを打ち、アウトになる前にカラーコーンを回ってホームに帰ってくれば得点となる。近いコーンを回れば1点。遠くのコーンを回って帰れば2点。

③守備側は、定められた場所へ打者(走者)がホームに帰る前にボールを運べばアウトになる。

④攻撃側が全員1回ずつ打ち終わったら(打者一巡したら)攻守交代。



三角ベース

○ねらい ①フェアグラウンドの角度を調節することで、守備側の「捕る・判断して投げる」といった学習の機会を確保し、その技能を向上させる。

②複数の塁を用いたゲームを通して、走者の判断力や打者が走者を進塁させるための打撃を考えるなどの力を向上させる。

○目標 ①正確な捕球・送球の技能を伸ばす。進塁を阻止するためにどこに送球すべきかを正しく判断する。

②走者を進塁させる打撃や、アウトにならないように打球を判断して走塁する力を身につける。

○ルール 塁間の距離やフェアグラウンドの角度を生徒の能力や人数、場所の広さなどに応じて決める。



ティーボール

○ねらい 簡単な条件でバッティングの面白さを味わいながら、正規に近い条件でゲームを行い、ベースボール型特有の攻守における基本的なチームプレーを理解し、身につけさせる。

○目標 打撃や走塁、捕球・送球など攻守に必要な基本的技能を発揮し、正規に近いゲームを楽しみながらベースボール型特有のチームプレーを理解する。



進塁阻止ゲーム

○ねらい 走者の進塁を阻止するための守備の連携プレーを理解し、身につけさせる。

○目標 攻撃側の進塁を阻止するための適切な判断力とカットプレー(中継プレー)を身につける。

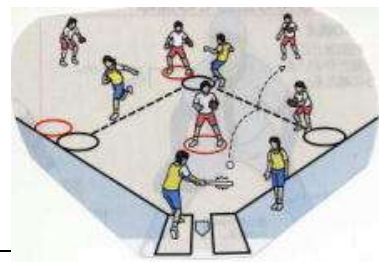
○ルール ①攻撃は常にランナー1, 2塁の状態から始める。

②打者がボールを打ったら、走者はアウトになるまで走る。

③守備側は、捕ったボールを走者よりも先に赤円の中に送球すればアウト。

④打者は走らない。走者が進塁した数を得点とする。

⑤打者一巡で攻守交代。



バンドベースボール(カラーボールで手打ち野球・正規のルールに近いゲーム)

簡単に「打つ・捕る・投げる」のゲームを行うことで、技能の難しさを取り除いて、ゲームの行い方を覚えることができる。

※競技場について

1 外野にフェンス(又はその代わりになるもの)を背負った場所(野球場のバックネットを背にするなど)が望ましい。

→ボールが外野を抜けてどこまでも行ってしまうと守備や走塁の学習の機会を失うことになるので、周囲を囲まれた中で行えるのが良いと考える。

2 安全対策として、キャッチャーのマスクやプロテクターの着用に加えて、待機中の生徒が打者の位置に近づきすぎないようにラインを引いて、「ベンチ」や「ネクストバッタースボックス」などを決めておく。

C群【ルールの工夫例】

○塁間の距離の調節。

○少人数で行う(プレー機会の保障・確保)。

○投げたボールを打つより簡単なティーバー。(A群図5, 6, 7参照)

・ピッチャーに対する至近距離からの打球に対する安全対策としても有効。

○ピッチャーを攻撃側から出す。

○盗塁、バントの禁止。フォアボール無し。

○打者一巡で交代。時間制。

○打者一巡交代の場合、アウトを取った数も得点化する(守っていても得点できる)

○内野でゴロをキャッチすれば1アウト。フライは2アウト。

